

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		医療心理科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名		心理学概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年		1年		学期及び曜時限	前期 火曜1限	教室名	心理実習室
担 当 教 員		小川 正子	実務経験とその関連資格	医療法人杏嶺会上林記念病院心理療法科に勤務。公認心理師。			
《授業科目における学習内容》							
心理学の成立と人の心の基本的な仕組みと働きを学ぶ。学問としての心理学を体系的に学び、基礎的な心理学実験の経験を通して心理学における各論の基本的な特徴を理解、説明することができるようになる。他者の心理や行動を理解できるようになるため、事例検討やグループディスカッションを行う。							
《成績評価の方法と基準》							
成績評価の方法は筆記試験とする。成績評価基準は、試験の成績、平素の学習状況、出席状況を総合して、試験素点の70%、出席評価点20%、平常評価点10%の100点満点とする。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
テキストは使用せず、パワーポイント(PPT)を中心に授業を展開し、適宜資料を配布する。							
《授業外における学習方法》							
事前学習としては、参考図書の該当箇所を読み、理解しにくいところを明確にしてから授業に臨むこと。 事後学習としては、心理学検定の過去問を解くことから、理解を深める。心理学検定の過去問題に準じた確認テストを実施するので、講義の復習が必要である。							
《履修に当たっての留意点》							
人間の心的機能を理解するには、多角的な視点が必要である。心理学の成立のプロセスを学ぶことによって、心的機能の理解の仕方を広げて欲しい。							
授業の方法		内 容				使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	連合心理学、精神物理学の考え方を説明できる。			プロジェクター PC PPT	
		各コマにおける授業予定	「心理学の成立①」哲学から始まる、心の理解の仕方について概説する。特に初期の哲学的心理学、連合心理学、精神物理学について学ぶ。				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳の局在性とその機能、記憶のプロセスを説明できる。			プロジェクター PC PPT	前回の配布プリントを読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	「心理学の成立②」前回の続きとして、心理学史の中から特に、脳の局在性やエビングハウスの記憶研究について学ぶ。				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	授業内で学んだ各論の基本的な概念を説明することができる。			プロジェクター PC PPT	脳の局在性について図にまとめる。
		各コマにおける授業予定	「心理学の成立③」現代心理学の礎となった精神分析学、行動主義、認知心理学、クライエント中心療法に始まる人間性アプローチによる心の理解の仕方について学ぶ。				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚と知覚の現象を挙げることができる。			プロジェクター PC PPT	脳の局在性についてまとめる。
		各コマにおける授業予定	「感覚・知覚心理学の基礎」感覚と知覚の現象について概説する。錯覚現象や社会的知覚等の現象から、対象認知の歪みが生じることを理解する。				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	記憶の種類を挙げることができる。			プロジェクター PC PPT	前回までの復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	「認知心理学①」記憶のモデルから、人の知識体系とその知識をいかに活用するかという思考及び問題解決のプロセスについて学ぶ。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	思考のプロセスや問題解決の種類を挙げることができる。	プロジェクター PC PPT	問題解決に関する問題について事前学習課題の提出
		各コマにおける授業予定	「認知心理学②」心を情報処理システムとしてとらえた場合の、記憶・思考・問題解決・言語について概説する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	古典的条件づけの刺激と反応を説明することができる。	プロジェクター PC PPT	参考図書の該当箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	「条件づけ①」行動変容のメカニズムとして、古典的条件づけについて学ぶ。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	オペラント条件づけの三項随伴性、強化と弱化について説明できる。	プロジェクター PC PPT	参考図書の該当箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	「条件づけ②」オペラント条件づけの原理に基づいた、行動変容の仕組みを学ぶ。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	動機づけの種類と内容を説明できる。	プロジェクター PC PPT	古典的条件づけとオペラントと条件づけの用語と特徴をまとめる。
		各コマにおける授業予定	「欲求と動機」行動の発動および維持に関連する心的状態として、欲求と動機、動機づけについて学ぶ。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	情動、気分、情操といった感情の種類と特徴を説明できる。	プロジェクター PC PPT	感情に関する検査の事前学習
		各コマにおける授業予定	「感情」行動の発動や維持に影響を及ぼす感情や気分の種類、行動への影響の及ぼし方について学ぶ。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	類型論と特性論、キャラクターとパーソナリティの違いについて説明できる。	プロジェクター PC PPT	パーソナリティ検査の事前学習
		各コマにおける授業予定	「パーソナリティ」行動のあり方や感情を支えるパーソナリティ(人格)理論や理論上のパーソナリティの特徴を学ぶ。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	集団心理の特徴を挙げることができる。	プロジェクター PC PPT	参考図書の該当箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	「社会心理学」集団の中における心理とリーダーシップ理論について学ぶ。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	特に子どもと高齢者の心理的特徴と発達段階を述べることができる。	プロジェクター PC PPT	子どもと高齢者福祉のレポート
		各コマにおける授業予定	「発達心理学」発達心理学の心のとらえ方、心の発達に関する古典的理論について学び、心理的発達及び行動の習得のしくみについて理解する。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	創始者、基本の用語を当てはめることができる。	プロジェクター PC PPT	参考図書の該当箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	「心理的支援のあり方①」来談者中心療法、精神分析、認知行動療法それぞれの成立過程と特徴について学ぶ。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理アセスメントの目的と収集すべき内容を説明できる。	プロジェクター PC PPT	配布プリントで復習する。
		各コマにおける授業予定	「心理的支援のあり方②」前回までの授業で学んだことを、事例に当てはめて考える。		